

# ICCHU NEWS

2019  
#3

発行元:宮崎第一中学校 教務部 〒880-0924 宮崎市大字郡司分甲767 TEL(0985)56-2626 FAX(0985)56-0088

<http://www.miyaichi.ed.jp/>

## ご来校に感謝!!

### 心からの感謝を

11月3日(日)、700名を超える小学生、保護者にお越し頂いた「特待生資格試験&一中入試説明会」が大盛況のもとに終了いたしました。ご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

当日は休校の中、一中生がボランティアとして誘導や試験補助などのお手伝いをさせて頂きましたが、いかがだったでしょうか?一中生のほとんどが、サマースクールや入試説明会で活動する先輩たちの姿に憧れて入学してきます。今回、小学生の皆さんの目にも、そんな風に映ってくれたなら幸いです。

当日のアンケートでは、「あいさつがとても気持ち良かった」、「表情がすごくイキイキしていた」など、一中生を高く評価して頂きました。今回ご覧頂いた生徒たちの振る舞いは、イベント用に飾ったものではなく、日常と同じ、「ありのままの姿」です。まだ入学後の生活や勉強面に不安がある方は、平日の夕方や土曜の午前中に生徒達と直接話をして下さい。きっと安心されるはずです。

本校はいつでも見学可能です。お気軽にお問い合わせください。皆様のお越しをお待ちしております。

宮崎第一中学校スタッフ一同

※見学をご希望の際には事前にご連絡下さい。学校行事などで生徒・職員が不在の場合があります。

## 特待生資格試験 & 一中入試説明会



学校説明(第一部)/データ編



「一中の伸びる仕組みと成果」をデータに基づき藤崎副校長が解説

学校説明(第二部)/学校生活編



一中生との思い出や体験談などを「お母さん目線」で話す堀之内教頭

特待生資格試験の様子①



特待生資格試験の様子②



## 中高一貫生による 学校紹介

中1から高2まで...それぞれが感じる一中・一高の魅力を語ってくれました!!

## TALK ABOUT ICCHU'S LIFE



【司会】大野智成先生  
3度の食事はチキン南蛮!?



【中学1年生】岩切 寧音さん  
明道小学校出身



【中学2年生】山賀 大輝くん  
加納小学校出身



【中学3年生】兒玉 陶子さん  
穂北小学校出身



【高校1年生】牧田 京典くん  
宮崎南小学校出身



【高校2年生】瀧口 奏子さん  
国富小学校出身

行事情報

12/7(土) 第3回 オープンスクール

公開授業/学校説明/  
入試要項説明/  
入試の傾向と対策  
学校説明、入試の傾向と対策は  
学校説明会(11/3)と同じ内容です。

本年度最後の  
公開行事!!

# Message from Seniors to Juniors

先輩たちからのメッセージ

## 西岡 真

【1年1組/国富小出身】



特待試験から入試まで

この前の特待試験はおつかれさまでした。入試の日に近づいていることを感じてきん張りはじめの時期だと思いましたが、実際、僕も去年のこの時期きん張っていました。僕は特待試験は余りだと思っていただけとも思うような結果がでず、特待だけでなく合格も不要でした。そして、特待試験問題のやり直しや過去問を繰返して解き、入試問題の傾向を知り、それに合わせて勉強することによって、合格することができました。第一中学校の入試の問題は、やはり難しく感じるがもしもせん。しかし、わりはりをつけて学習し、勉の勉強をしかり就は大丈夫です。ぜひ、自信をもってください。入試まではまだ少し時間があると思うので、がんばってください。

## 那須 遥斗

【2年2組/住吉南小出身】



部活と勉強の両立

僕はバスケット部に所属していますが、始めの頃はテストのやり直しなどが多く、なかなか部活に行けない日々が続きました。そんな中、僕を変えてくれたのは「勉強方法を変えてみる」という先輩の一言です。そこで自由時間を減らしてその時間を勉強にあけると徐々に成績が上がるようになり、今では自由時間を休日だけにし、平日はその日習ったことの復習をしています。自分である程度の縛りをつけて勉強をした方が成績も上がると思うので、もしこのような悩みが出てきたら、勉強方法を変えてみてください。もっと学校生活が楽しくなると思います。

## 永野 智也

【3年3組/小林市立小林小出身】



一中が楽しいと感じる瞬間

私は今、自分の進路に向けて日々勉強に励み、充実した学校生活を送っています。時には苦しいことやうまくいかないこともあります。そんな時、一緒に頑張れる仲間や先生に助けられることがあります。私のクラスは、理解のある先生をはじめ、男女関係なく仲の良いクラスです。日々演習はもちろん、テスト前にはクラスの皆で教え合ったりしています。また、先日行われた合唱コンクールでは、皆協力し、一つにまとまろうとしてくれたおかげで、見事に優勝することができました。クラス全員が一つになった瞬間で、私はとても感動しました。このように、一中は、1つのことに皆と真剣に取り組むことのできる学校です。皆さんも、一中で「感動」ある学校生活を送りませんか？

## 永山 彩香

【1年2組/都城市立東小出身】



入学前の不安と入学後に感じたこと

私は入学前、人間関係に対して不安を抱いていました。でも、入学後は友達がたくさんでき、とても楽しい学校生活を送っています。また、先輩方は積極的に声をかけてくれて、すぐに仲良くなることができました。入学後に一番驚いたことは、先生方との距離感が近いことです。昼休みや放課後の職員室は質問に来た生徒でいっぱい、わからないことを聞くことができます。通学面は、スクールバスを利用する人や自転車通勤の人などそれぞれです。私はスクールバスを利用しているのですが、中学生の先輩はもちろん、高校の先輩とも話せて仲良くなるのができます。部活動や登下校の時間を通して、高校3年生とまで交流できる経験はとても貴重だと思います。

## 山元 未来

【2年1組/清武小出身】



好きな行事

入学して1年半、たくさん行事があります。その中でも特に好きな行事は2つあります。1つ目は「体育祭」で、高一と合わせて1000人以上で行われる体育祭は1年1番盛り上がる行事です。高一は身長、3年生が中心の2つの劇団ダンスを踊ります。屋敷の踊り台で一中は1つにまとまっています。2つ目は、合唱コンクールです。年に1度、清武の半九ホールで行われる合唱コンクールに向けて1週間以上前から音楽の時間を放課後等を使って練習します。この行事の最大の魅力はこの練習期間にあると思います。私は何年か練習生をやって頂きたい。クラスがまとまり、大変な時もありましたが最後の練習では、みんなの作り出したメッセージが、とても心に残っています。ぜひ、この行事を通して仲良くなるのがいいと思います。このように、屋敷より長い合唱をやりあげていく方が、クラスの絆も深まります。ぜひ入学して一中の行事を一緒に楽しませんか？

## 藤田 姫乃

【3年2組/曾於市立末吉小出身】



バス通学

私は、鹿児島県曾於市から車とバスで1時間30分かけて通学しています。入学して間もない時は、早起きが出来るか、友達は何人出来るか心配でしたが、周りの方々がたくさんサポートしてくださるので、心配する必要もなくなりました。車やバスの中では、睡眠時間を確保でき、学校の課題も終わらせることができるので、家では自分の時間を作るようになりました。遠方からの通学は大変ですが、学校生活はとっても楽しいです。一中で楽しい中学校生活を送りましょう！

### 特待生 資格試験

※小6偏差値は特待生資格試験のデータ

一中に入学してから現在まで・・・ 高校生の体験談

# 一中生が伸びる理由

私たち、一中の教師陣は「小学校の成績は関係ない」と考えています。たとえ、今回の試験が不本意な結果に終わったとしても、気にする必要はありません。学力は中学からの取り組み次第でいかようにでも変わってくるのですから。このコーナーでは入学当初、中間・下位層にいた3人の先輩たちが、それぞれのレベルからどうやって成績を伸ばしてきたのか、その体験談をお送りします。ぜひ参考にして下さい。

高2 **A**くん

小6時特待生資格試験 中位層 152位 (297人中) で入学

小6偏差値 51.1 >>> 7月進研模試 80.5 **+29.4**

高2 **B**さん

小6時特待生資格試験 下位層 209位 (297人中) で入学

小6偏差値 45.5 >>> 7月進研模試 65.7 **+20.2**

高1 **C**さん

小6時特待生資格試験 下位層 243位 (313人中) で入学

小6偏差値 42.3 >>> 7月進研模試 75.3 **+33.0**

ぼくは、サマースクールや入試説明会に参加して、一中の生徒同士や先生と生徒の仲の良さを見て、入学することを決めました。自分の成績を落とさないために、ぼくは2つのことを意識して学校生活を送っていました。

一つ目は、先生に言われたことにしっかりと取り組むことです。一中の先生方は、今まで多くの生徒を見てきていて、人生の先輩でもあるので、先生の言うことに間違いはありません。実際、ぼくも先生が勧めた勉強法を実践することで上位の成績を維持することができました。

二つ目は、どんな時でも何か目標を立てて生活していくことです。ぼくは部活もやっていたので、勉強の時間を十分に取れない日もありましたが、目標を立てて時間を効率的に使うことを意識していました。そうすることで、毎日が充実したものになっていきました。

最後に、ぼくがこれまでがんばってこれたのは、一中の熱心で個性豊かな先生方と、時には競い合い、時には支え合った仲間たちのおかげだと思っています。このような大切な人々に出会えるのも、この学校の魅力です。みなさんもこのような素晴らしい環境で学校生活を送ってみませんか。

「姉が一中に通っていたから。」私が一中を受験しようと思ったのは、とても単純な理由でした。

だからなのか、今思えば小学生の頃は塾にも通わず遊んでばかり。入試が近づき、父と共に受験勉強を始めたものの、泣くほど理解ができませんでした。合格して一中に入学しても、1年生のテストはいつも下の方でした。

ところでみなさんは「パスカルの三角形」を知っていますか？多くの人は知らないと思います。もちろん小学生の頃の私も知りませんでした。高校1年くらいで習うものですが、私は一中でこの「パスカルの三角形」に出会いました。出会った日から「パスカルの三角形」について知りたくて、自学の時間のたびに先生に質問をしに行きました。それと同時に数学のおもしろさにも気づき、今まで1人で適当に終わらせていた日々も友達と意見を交換しながら取り組むようになりました。分からない所は職員室に行き先生に教えてもらいました。そうすると、勉強時間も自然と増えていきました。

私が変わるきっかけとなったのは、「先生に質問に行く」という行動に出たことでした。一中には、興味を持ったくらいでも教えてくれる先生がいます。納得するまで教えてくれる熱心な先生がいます。

私の経験から言うと、一中に入ってから興味を持ったり、勉強で悩んだ時、みなさんの行動次第で今どんなに成績が悪くても、確実に成績は上がります！

小学校の頃の私は、「勉強」という概念が全くなく、好きなことばかりして過ごしていました。一中は親の薦めで受験したのですが、受験勉強など一切なかったもので、入試ではまともに解答できなかったものの、かろうじて合格…。一中生活がスタートしました。しかし、入学してみると、私の一中のイメージはガラッと変わりました。

一中は授業や課題がすさまじく多く、ただただ、きつだけと想像していたのに、その多さを感じないくらい楽しい授業と個性的な課題ばかりだったのです。また、職員室はいつでも先生と生徒の声でにぎわっていました。自由に出入りができて質問しやすい環境…。そんな一中生活の中で、私は「勉強」について、自分なりに答えを見つけ出すことができました。それからは、部活や習い事など、好きなことをしながらも、机に向かって勉強する時間が増えていきました。そのおかげで、入学当初は空欄が目立った答案用紙も全て埋められるようになりました。一中に来てから勉強に対する「価値観」が変わったのです！

もし、勉強がきらい、勉強が分らないと思っているのなら、一中に来て、自分なりの「勉強」を探してみてください。きっと答えが見つかるはずですよ。